

環境水理部会研究集会 2015 in 京都

開催日時：2015年5月18日（月） 午前10時から（受付は9時15分頃より開始）

開催場所：京都大学防災研究所（宇治キャンパス） 研究連携棟 大セミナー室

研究発表プログラム

10:00-10:05 開会挨拶（部会長：角 哲也）

（司会：角 哲也）

10:05-10:20 環境水理学の発刊の経緯
二瓶 泰雄（東京理科大学）

<河道植生・ハビタット・河道管理>（司会：宮本 仁志）

10:20-10:35 河川における植物と地形
大石 哲也（土木研究所）

10:35-10:50 ヤナギ類の空間分布予測
乾 隆帝（山口大学）

10:50-11:05 鬼怒川・小貝川における樹林化・藪化の実態把握
宮本 仁志（芝浦工業大学）

11:05-11:20 航空写真を用いたアユの生息場適地の定量化手法ー淀川水系を例にして
三島 康二（京都大学）

11:20-11:35 小さな自然再生：流域の土と木で手づくり魚道
山下 慎吾（魚と山の空間生態研究所）

11:35-11:50 2013年台風18号による桂川の洪水氾濫
田中 茂信（京都大学）

11:50-13:00 昼食

<沿岸域・湖沼>（司会：梅田 信）

13:00-13:15 諫早湾締切堤防が有明海・諫早湾の塩淡水成層に与えた影響
矢野 真一郎（九州大学）

13:15-13:30 小規模な浅い湖沼における日変化する物理過程の研究
木村 延明（九州大学）

13:30-13:45 十三湖におけるヤマトシジミの再生産に関する調査と、
個体群の成長に関するモデル解析
梅田 信（東北大学）

13:45-14:00 宍道湖における3次元湖沼生態系モデルの開発と検証
山本 茂友（鳥取大学）

14:00-14:15 宍道湖における水質予測管理システムのプロトタイプ開発
中田 一騎（鳥取大学）

休憩

<ダム・水質・計測法> (司会：矢島 啓)

- 14:45-15:00 土木研究所におけるダムを中心とした水理的課題と解決の方向性について
宮川 仁 (土木研究所)
- 15:00-15:15 寄生化藻類を用いたアオコ対策技術の開発 (その1：化学条件制御法)
井芹 寧 (西日本技術開発株式会社)
- 15:15-15:30 出水時に河川を流下する土粒子の沈降現象
海野 仁 (土木研究所)
- 15:30-16:45 底面での微小酸素濃度分布を参照した摩擦速度の推定
井上 徹教 (港湾空港技術研究所)
- 15:45-16:00 道頓堀川の水質改善に向けた水門操作の再検討
今福 大智 (大阪大学)

休憩

<特別講演> (司会：角 哲也)

- 16:20-17:20 氾濫原環境と魚類生態－亀岡のアユモドキ保全を例にして
岩田 明久 (京都大学)
- 17:20-17:50 氾濫原と治水・利水・環境の共生
竹門 康弘 (京都大学)
- 17:50-18:00 閉会挨拶 (新部長：宮本 仁志)

※終了後、歩いてキャンパス内のきはだホールに移動、交流会 (18:30-20:30)

※発表用のプロジェクターとパソコン (Windows7/8、Microsoftoffice2013) は会場に備えます。

講演者は当日セッション前にファイルを会場のパソコンにコピー、もしくは各自パソコンを準備ください。